

2025 年度 授業コード: 22118200

授業科目	＊医学概論					実務家教員担当科目	－				
単位	4	履修	必修	開講年次	2	開講時期	前期				
担当教員	定永 敦司／浅野 嘉延										
授業概要	実務家教員として、社会福祉士、精神保健福祉士、養護教諭、保育士に必要な医学の基礎知識を、大学病院や関連病院に長く勤務した内科医の臨床経験をもとに解説する。 各領域において、解剖・生理を概説したあとに、主要疾患の症状や治療のポイントを紹介する。 福祉現場で必要となる医学・医療の知識や、社会福祉士の国家試験に必要な知識は重点的に解説する。										
授業形態	対面授業				授業方法	自主学習支援のため、講義資料の一部をClassroomにアップします テーマを提示し、グループワークやディスカッションを行います					
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	1 人の成長・発達について説明できる 2 人体の構造と機能について説明できる 3 代表的疾患の成り立ちについて説明できる 4 障害について説明できる 5 リハビリテーションについて説明できる 6 国際生活機能分類について説明できる 7 健康と疾病を防ぐ保健対策について説明できる。 8 現代社会の医療・福祉に関する課題について説明できる 9 福祉現場で必要な医学の基本的な知識を身に付けることで、現場に関わる人々と円滑なコミュニケーションが取れる 10 得た知識を人に説明することができ、現代社会の医療・福祉に関する課題について関心を持つ										
理想的レベル	1 医学の知識をよく理解し、自分の専門分野における問題解決に応用することができる 2 現代社会の医療・福祉に関する課題について解決策を自分なりに考えることができる										
評価方法・評価割合											
評価方法			評価割合（数値）			備考					
試験			70								
小テスト											
レポート											
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物											
その他			30			課題、授業貢献度					
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	－	DP3	○	DP4	－	DP5	－	ナンバリング	WE21501J
学習課題（予習・復習）										1 回の目安時間（時間）	
当該部分の予習と復習										4	

授業計画	
第1回	テーマ：ライフステージにおける心身の変化と健康課題 第一章 ①小児期から成人期までの心身の特徴 ②加齢と老化 ③ライフステージ別の健康課題 発育過程、体の機能、加齢現象、それぞれの年代に応じた健康課題について学びます
第2回	テーマ：健康および疾病の捉え方 第二章 ①健康と疾病の概念 ②国際生活機能分類（ICF） 前回の復習、健康と疾患の概念について学びます。 ICF コードを概説します
第3回	テーマ：身体構造と心身機能 その1 第三章 ①人体部分の名称 ②器官系と臓器の役割 人体の解剖や生理について、第3回、第4回で学びます
第4回	テーマ：身体構造と心身機能 その2 第三章 ①人体部分の名称 ②器官系と臓器の役割 人体の解剖や生理について、第3回、第4回で学びます
第5回	テーマ：疾病と障害の成り立ちおよび回復過程 第四章 ①疾病の発生原因と成立機序 疾病の原因や、発症のメカニズムを学びます
第6回	テーマ：リハビリテーションの概要と範囲 第五章 ①リハビリテーションの定義 ②リハビリテーションの目的 ③リハビリテーションの方法 ④リハビリテーションの方法を概説します
第7回	テーマ：疾病と障害およびその予防・治療・予後・リハビリテーション 第六章 ①感染症 疾病の各論に入ります。1回の講義で、教科書第6章の1節ずつ学びます 感染対策が必要な病原菌や院内・施設内感染対策について学びます
第8回	テーマ：疾病と障害およびその予防・治療・予後・リハビリテーション 第六章 ②神経疾患、認知症、高次脳機能障害 神経の解剖と生理の概要、認知症や代表的な神経難病について学びます
第9回	テーマ：疾病と障害およびその予防・治療・予後・リハビリテーション 第六章 ③脳血管障害 前回の復習、代表的な脳血管障害について学びます
第10回	テーマ：疾病と障害およびその予防・治療・予後・リハビリテーション 第六章 ④心疾患 心臓や血管の解剖と生理の概要、虚血性心疾患、心不全、弁膜疾患、不整脈、大動脈疾患、高血圧について学びます
第11回	テーマ：疾病と障害およびその予防・治療・予後・リハビリテーション 第六章 ⑤内分泌・代謝疾患 内分泌の概要と、糖尿病、脂質代謝異常、尿酸代謝異常、甲状腺機能亢進症や甲状腺機能低下症など代表的な内分泌疾患について学びます
第12回	テーマ：疾病と障害およびその予防・治療・予後・リハビリテーション 第六章 ⑥呼吸器疾患

	呼吸器の解剖と生理の概要、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、肺炎、肺結核、慢性呼吸不全、肺癌、睡眠時無呼吸症候群について学びます
第 13 回	テーマ：疾病と障害およびその予防・治療・予後・リハビリテーション 第六章 ⑦腎・泌尿器疾患 腎臓と泌尿器系の解剖と生理の概要、腎不全、腎臓の疾患、腎代替療法（血液透析、腹膜透析、腎移植）、泌尿器疾患について学びます
第 14 回	テーマ：疾病と障害およびその予防・治療・予後・リハビリテーション 第六章 ⑧消化器・肝胆膵疾患 消化器系の解剖と生理の概要、肝胆膵疾患、消化器疾患について学びます
第 15 回	テーマ：疾病と障害およびその予防・治療・予後・リハビリテーション 第六章 ⑨骨・関節の疾患 主要な骨、筋肉の名称、関節の構造の概要、骨粗鬆症と骨折、変形性骨関節疾患、関節リウマチについて学びます
第 16 回	テーマ：前半の復習 前半の講義内容の復習、試験対策を行います
第 17 回	テーマ：疾病と障害およびその予防・治療・予後・リハビリテーション 第六章 ⑩血液 血液の成分（血球と血漿）、代表的な血液疾患について学びます
第 18 回	テーマ：疾病と障害およびその予防・治療・予後・リハビリテーション 第六章 ⑩免疫・アレルギー疾患 免疫の概要、代表的な膠原病・アレルギー疾患について学びます
第 19 回	テーマ：疾病と障害およびその予防・治療・予後・リハビリテーション 第六章 ⑪眼科疾患、視覚障害 目の解剖と生理の概要、白内障や緑内障など代表的な眼疾患や視覚障害について学びます
第 20 回	テーマ：疾病と障害およびその予防・治療・予後・リハビリテーション 第六章 ⑫耳鼻咽喉疾患、聴覚障害、平衡機能障害 耳の解剖と生理の概要、聴覚障害やめまい・平衡機能障害、嗅覚障害、嚥下障害について学びます
第 21 回	テーマ：疾病と障害およびその予防・治療・予後・リハビリテーション 第六章 ⑬口腔疾患 歯・口腔の解剖と生理の概要、歯・口腔の疾患、歯科保健の概要について学びます
第 22 回	テーマ：疾病と障害およびその予防・治療・予後・リハビリテーション 第六章 ⑭婦人科・産科 女性生殖器のの解剖と生理の概要、婦人科腫瘍、妊娠と合併症、更年期障害について学びます
第 23 回	テーマ：第 17 回～第 22 回の復習 第 17 回～第 22 回の復習、試験対策を行います
第 24 回	テーマ：疾病と障害およびその予防・治療・予後・リハビリテーション 第六章 ⑮精神疾患、精神障害、発達障害 精神疾患患者の入院制度、発達障害や代表的な精神疾患について学びます
第 25 回	テーマ：疾病と障害およびその予防・治療・予後・リハビリテーション

	第六章 ⑯小児科疾患、肢体不自由、知的障害 小児疾患の特性、肢体不自由、知的障害、ダウン症などの主な疾患について学びます
第 26 回	テーマ：疾病と障害およびその予防・治療・予後・リハビリテーション 第六章 ⑰高齢者に多い疾患 高齢者に特有な状態や疾患について学びます。高齢者に対する適切な医療提供の指針について概説します
第 27 回	テーマ：疾病と障害およびその予防・治療・予後・リハビリテーション 第六章 ⑱生活習慣病（総論）、内部障害 ⑲悪性腫瘍と緩和ケア 生活習慣病、内部障害、悪性腫瘍、緩和ケア、終末期ケアの概要を学びます
第 28 回	テーマ：公衆衛生 第七章 ①公衆衛生の概要 ②健康増進と保健医療対策 予防医学（一次予防、二次予防、三次予防）、母子・健康・高齢者・精神保健対策、感染症対策、難病対策について概説します
第 29 回	テーマ：第 24 回～第 28 回の復習 第 24 回～第 28 回の復習、試験対策を行います
第 30 回	テーマ：総まとめ 授業内容の総まとめ、試験対策を行います
テキスト	教科書：最新社会福祉士養成講座精神保健福祉士養成講座 1 医学概論 中央法規出版 ISBN 9784805882313
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書： 看護のための臨床病態学（改訂 4 版）、浅野嘉延・編、南山堂 看護学生のための疫学・保健統計（改訂 4 版）、浅野嘉延 南山堂
課題に対するフィードバックの方法	課題や小テスト、定期テストは返却します
学生へのメッセージ・コメント	教科書に沿ったスライドによる講義形式の授業を行います。資料は適宜抜粋して配布しますので、講義のメモや復習に用いてください。演習も行います。 医学、医療に関する基本的な知識は、福祉の業務に必要なだけでなく、自分自身や家族の健康管理などにも重要です。医学の知識だけでなく、臨床経験を通して「命の大切さ」を訴えていきます。新しい知見は生まれ続けます。学生時代に学んだ知識がこれからも正しいことであり続けるとは限りませんが、これから生涯にわたる学習の基礎になります。多岐にわたる内容ですが、興味をもって積極的に取り組んで下さい。 講義は教科書に沿って行います。講義内容と教科書の順番が必ずしも一致しないことや、一つの講義が教科書の複数の章にまたがる内容となることがありますので注意してください。

	広汎な内容を扱うため、予習と復習をして理解を心がけて下さい。講義では教科書的な知識に加え、実際の現場での問題点や課題にも触れながら一緒に考えていきたいと思っています。 講義内容で疑問点が生じたり、分かりにくいことがある時は遠慮なく質問してください。 また、関連のジャーナルやインターネットの医学情報などで理解を深めて下さい。 課題や小テストを行う場合があります。
--	---